

MITSUBISHI

CAR NAVIGATION SYSTEM

MODEL

CU-H8000シリーズ

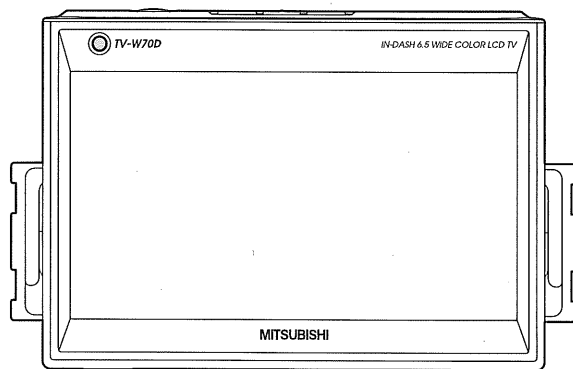
テレビ部取扱説明書

■お買い上げいただきありがとうございます。

この製品の機能を十分に活かし正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときもう一度ご覧ください。きっとお役に立ちます。

■本書は別紙、ナビゲーションシステム取扱説明書、取付要領書、保証書、サービス相談窓口一覧表と共に大切に保管してください。



WIDE/RGB

目次

はじめに

主な特長	1
ご注意とお願い	2

ご使用の前に

ご使用上のお願い	4
リモコンについて	6

操作方法

各部の名称と動き	7
ディスプレイの操作	9
各種設定と操作について	11
画質調整のしかた	16
テレビを見るには	18
ビデオを見るには	19
ナビゲーションを見るには	20
リレーション機能と操作のしかた	20
画面モードの切り換え	22

ご参考までに

故障かな?と思ったら	23
保証書とアフターサービス	25
主な仕様	26
付属品	26

- 対角16.5cm高品位ワイド画面液晶(画素数280,800個)を採用
- 液晶パネル部の角度調整機能(上方向120度、左右方向各10度)により優れた視認性を確保。
- 前後調整(3ステップ)機能は、電動スライドメカニズムを採用。また、ラストメモリー機能付き。
- ビデオカメラなどの接続に便利な映像(VIDEO)、オーディオ(AUDIO)入力端子を前面に装備。(ビデオ用ミニプラグ挿入時自動検知機能付き。)
- 映像の内容により、4種類の画面モード(ノーマル/フル/ズーム/ワイド)が選択可能。
- テレビの基本操作、ナビゲーションユニットの電源ON/OFFが可能な操作ボタンを液晶パネル部に装備。
- テレビ/ビデオ音声出力も可能な音声ガイド(ルート案内)用スピーカーを内蔵。
- 液晶パネルを見やすい明るさに自動調光するオートディマー回路を内蔵。
- 常に最適な受信状態のアンテナを選択して受信できるテレビ4系統ダイバーシティシステム内蔵のテレビチューナー部。
- オートサーチメモリー(10局)、プリセットメモリー(9局)の2種類のメモリー機能付き。
- 二カ国語放送やステレオ放送が楽しめる音声多重復調回路を内蔵。また、音声モード表示機能付き。
- リレーション(同放送自動追尾)機能内蔵により、自動的に最適な受信チャンネルを確保。また、放送局名表示機能付き。
- FMカーラジオ(カーステレオ)でテレビ/ビデオ音声を楽しめるFMトランスミッター機能を内蔵。(送信周波数16種類より選択可能。)

ご注意ください

■製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。

正しい取付け
正しい操作で
安全運転



■絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」であることを示しています。



注意

この表示の欄は、「人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」であることを示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

この表示記号は注意(警告を含む)を促す内容を表わしています。



禁止

この表示記号は行為を禁止する内容を表わしています。



実行

この表示記号は行為を強制したり指示する内容を表わしています。



警告

安全上お守りいただきたいこと

走行中は運転者による操作をしない

走行中は、運転者による操作をしないでください。交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停止してから操作してください。



禁止

運転者は走行中に、ディスプレイ(液晶画面)を注視しない

前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。



禁止

電池は幼児の手が届かないところに保管する

事故防止のため、電池は幼児の手が届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実行

故障状態で使用しない

画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



禁止

異常が起きたら使用しない

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表記載の最寄りのサービス店にご相談ください。そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。



禁止

ご注意とお願い (つづき)

注意 安全上お守りいただきたいこと

コードを引っぱらない

コードを引っぱったり、キズつけしないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

機器内部に異物を入れない

機器内部に水や異物を入れないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

電池の極性に注意する

電池を機器内に挿入する場合、極性(⊖ ⊕)に注意し、表示通りに入れてください。電池の極性を間違えると乾電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



注意

指定の乾電池を使用する

指定の乾電池以外は、使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



注意

強い衝撃を与えない

落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を加えないようにしてください。破損や故障の原因となります。



禁止

エンジンを止めた状態で使用しない

エンジンを止めた状態で長時間使用するとバッテリー上がりの原因となります。風通しのよい場所でエンジンをかけた状態で使用してください。



禁止

揮発性のものをかけない。ゴム・ビニール製品を接触させない

殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴム・ビニール製品を長時間接触させると変質したり塗料がはげるなどの原因となります。



禁止

液晶パネル面を押さない

液晶パネル面を押さないでください。故障の原因となります。



注意

適正な音量で使用する

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえないと事故の原因となることがあります。



注意

リモコンを放置しない

停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。操作時以外はリモコンホルダーに収めるなどの処置をしてください。



注意

ご使用上のお願い

携帯電話や無線機について

- 本機の近くで携帯電話や無線機を使用すると画面が乱れたり、内蔵スピーカーからの音声にノイズが入ることがあります。携帯電話や無線機の電源を切るか、本機から遠ざけてご使用ください。

液晶パネルについて

本機を使用中に次のような現象が起きることがあります。

- 液晶画面は正面からが一番きれいに見えます。画面を見る角度によって色が濃くなったり白っぽくなったりして見えることがあります。見やすい角度に調整してご使用ください。
- 液晶画面に薄い横縞が見えたり、残像(前に映っていた像が薄く残ること)が出る場合があります。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や白く光る点(輝点)がでることがあります。これは液晶パネル特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると光が反射して映像が見にくくなりますので直射日光をさえぎってください。
- 液晶画面照明に使用している小型冷陰極管には、寿命があります。(寒いところで使用すると寿命が短くなる場合があります。)画面がチラついたり、暗くなってきたときはお買い上げ店、または別紙サービス相談窓口一覧表のサービス店にご相談ください。

お手入れについて。

- 液晶画面に付いたホコリや汚れを清掃する場合は、電源を切ってから乾いた柔らかい布で拭きとってください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメなどでキズつけないよう注意してください。また、ぬれたぞうきんやベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

地上波デジタルテレビ開局準備による 現行アナログテレビチャンネル変更について

〈概要〉

地上デジタルテレビジョン放送は2003年末より3大広域圏(関東広域圏・中京広域圏・近畿広域圏)で本放送が開始され、その後、順次放送地域が拡大される予定です。これに伴い2003年2月9日より一部地域ではアナログテレビジョン放送のチャンネルが順次変更されております。

当変更の詳細につきましては、総務省関連のホームページ、各地域の受信対策センターからの広報等をご参照願います。

〈アナログテレビのチャンネル変更についての、お問合せ先〉

別紙記載の各地域の『アナログテレビチャンネル変更対策 各地域受信対策センター』にご確認ください。

〈上記変更に伴い本機において発生する可能性がある現象〉

1. 放送局名表示機能及びリレーション(同放送追尾)機能付の機器の場合、チャンネルが変更される地域では、『正しい放送局名が表示されない。または、放送局名が表示されない。』や『リレーション(同放送追尾)機能が正しく動作しない。』場合があります。
2. オートサーチやプリセットで設定したチャンネルを一部変更する必要が生じる場合があります。この場合は、本取扱説明書に従い、再設定をお願いします。

・本製品の機能・現象についての、お問合せ先

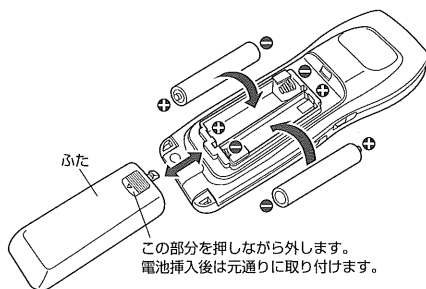
別紙サービス相談窓口一覧表の『三菱電機カーインフォメーションセンター』にご確認ください。

地上デジタルテレビジョン放送が開始されても、本機で受信することはできません。

リモコンについて

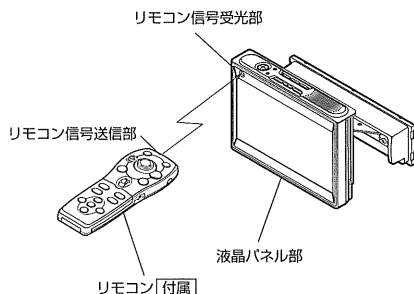
ご使用前に

- 初めてお使いになるときは付属の乾電池(単4)2個を⊕⊖の向きに注意して入れてください。また、乾電池が消耗したときは市販の乾電池(単4)2個をお買い求めください。



リモコンの操作方法

- リモコンの信号送信部を液晶パネル部のリモコン信号受光部に向けて操作してください。(許容範囲は上下左右共約30度)



⚠ 注意

リモコンの取り扱いについて

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置しないでください。高温により変形や変色したり故障する恐れがあります。リモコンを使用しない場合は、グローブボックスなどの直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直射日光が当たるとリモコンの操作ができない場合があります。リモコン受光部に直射日光が当たらない状態で使用してください。

電池の取り扱いについて

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- ⊕⊖の向きに注意して正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液漏れが起こったときは、電池室についた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また万一、目に入ったときは、こすらずにすぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。
- 分解や加熱をしたり、水の中に入れてください。破裂するなどの恐れがあります。また、不要となった電池は各地方自治体の条例に従って廃棄してください。
- 充電しないでください。破裂の恐れがあります。
- 金属製のピンセットなどで電池をつかまないでください。ショート(短絡)します。
- 保管の際、幼児が飲み込む恐れがありますので手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだときは、直ちに医師の治療を受けてください。

各部の名称と働き

本体

リモコン信号受光部
付属のリモコン信号を受光します。

液晶パネル
テレビ/ナビゲーション/ビデオ映像を表示します。

ディマーセンサー
周囲の明るさを検知し画面の明るさを自動調節します。

(ディスプレイ立上げ時)

スライドアップボタン (SLIDE ▲)
スライドダウンボタン (SLIDE ▼)
液晶パネル部の前後スライドを調整します。単押しで1段階(3段階)調整が可能です。

オープン/クローズボタン (OPEN)
液晶パネル部の排出または、収納をします。

ナビゲーションユニット電源ボタン (NAV)
ナビゲーションユニットの電源をON/OFFします。

オーディオ入力端子 (ミニジャック) (AUDIO)
外部A/V機器などの音声信号入力用ジャックです。

チャンネルアップボタン (CH ▲)
チャンネルダウンボタン (CH ▼)
手動(マニュアル)操作で受信チャンネルを切り換えます。

映像入力端子 (ミニジャック) (VIDEO)
外部A/V機器などの映像信号入力用ジャックです。

(ディスプレイ収納時)

内蔵スピーカー
ナビゲーションユニットの音声ガイド(ルート案内)/テレビ/ビデオ音声を出力します。

リセットボタン
ボタン操作を受け付けなくなるなどの動作異常時に本機のマイコンを初期設定にします。異常時以外は使用しません。(リセット操作は、ペン先などで行ってください。また、強い力を加えるとスイッチが破損する恐れがありますのでご注意ください。)

テレビチューナー電源ボタン (TV)
テレビチューナーの電源をON/OFFします。

アンテナ入力端子 (ミニジャック)
テレビアンテナ信号入力用ジャックです。別売テレビアンテナを接続します。(4チャンネルアンテナ)

映像出力端子 (ピンジャック) (VIDEO)
外部A/V機器などの映像出力用ジャックです。

車種専用取付ネジ穴 (M4×8mm MAX)
本システムでは、使用しません。

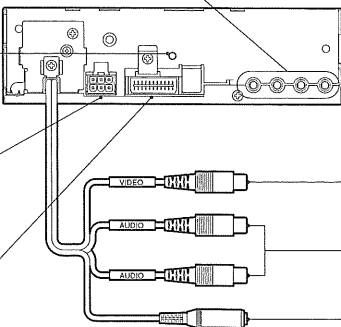
(本体後面)

電源コード接続端子 (6P)
付属の電源コードを接続します。

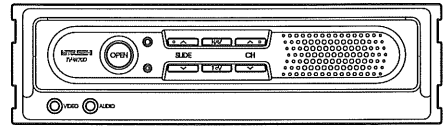
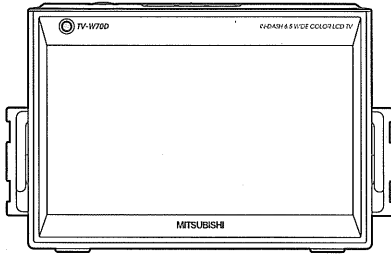
オーディオ出力端子 (ピンジャック) (AUDIO)
外部A/V機器などの音声出力用ジャックです。(赤:Rch 白:Lch)
(FMトランスミッター設定OFF時に出力されます。)

接続コード接続端子 (22P)
ナビゲーションシステムなど接続時に付属の接続コードを接続します。

アンテナ出力端子 (ミニジャック)
付属のFMトランスミッターアンテナを接続します。




ディスプレイの操作




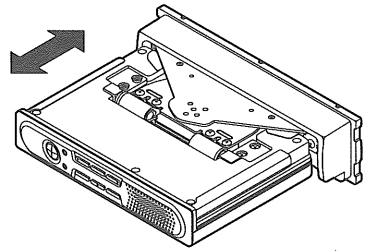
ディスプレイの排出・収納（前後方向）

〈排出および、収納はボタン操作により自動で行います。〉

1 車のエンジンを始動します。（パーキングブレーキは、引いておいてください。）

2  ボタンを押すとディスプレイが排出されます。

3  ボタンをもう一度押すとディスプレイが収納されます。



お知らせ

●ディスプレイが排出途中で障害物などに接触した場合は自動的に収納します。

警告

安全上お守りいただきたいこと

■オートマチック車のシフトレバーがパーキングポジションでディスプレイに当たる場合は、パーキングブレーキを引きシフトレバーをニュートラルポジションにしてから操作してください。そのままご使用になると事故の原因となります。

注意

安全上お守りいただきたいこと

■ディスプレイの前または、上に物を置かないでください。故障やケガの原因となることがあります。

ディスプレイの角度調整（上下方向）

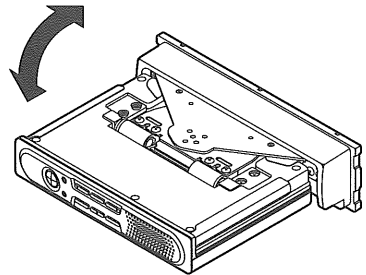
〈角度調整は、手動で行います。〉

1 ディスプレイを手で上方向に起こし見やすい角度に調節します。

2 ディスプレイを元の位置（水平）に戻すと、自動的に収納されます。

お知らせ

●ディスプレイを起こす際は、液晶パネルに手を触れないようにしてください。液晶パネルが汚れて見えにくくなります。汚れたときは、市販の眼鏡用クリーナークロスなどで軽く拭き取ってください。



注意

安全上お守りいただきたいこと

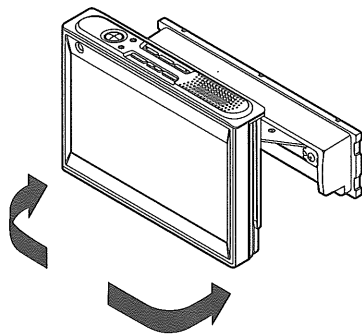
■ディスプレイを起こすときまたは、元の位置に戻す際は、力を加えずにしてください。力を加えすぎると故障の原因となることがあります。

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

ディスプレイの角度調整（左右方向）

〈角度調整は、手動で行います。〉

- 1 ディスプレイを手で上方向に起こした後、左右方向に回転させ、見やすい角度に調節します。（左右共に10度ずつ2段階調節ができます。）




⚠注意

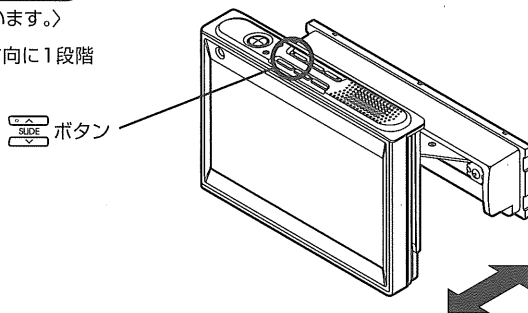
安全上お守りいただきたいこと

- ディスプレイを左右方向に回す際は、規定角度以上に回転させないでください。無理な力を加えると故障の原因となることがあります。

ディスプレイの位置調整（前後スライド）


〈前後スライドは、ボタン操作により自動で行います。〉

- 1 ディスプレイの  ボタンを押すと前後方向に1段階スライドします。



操作方法

お知らせ

- ディスプレイの前後スライドは、3段階（1段階で6mmスライドします。）可能です。
- ディスプレイの前後スライドを調整すると、スライド位置を自動的にメモリーし、次回液晶パネル部引き出し時にメモリーしたスライド位置に調整されます。（ラストメモリー機能）
- ディスプレイの前後スライドを初期設定位置（一番奥の位置）にするには、 ボタンを長押しします。

⚠警告

安全上お守りいただきたいこと

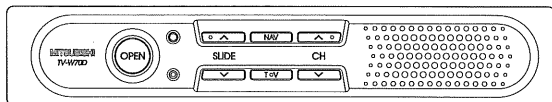
- ディスプレイの前後位置は、車のシフトレバー操作の妨げにならない位置に設定してください。オートマチック車でディスプレイを手前に出して使用すると、車種によりシフトレバーがパーキングポジションで液晶パネルに当たる場合がありますので注意してください。
- コラムシフト車の場合、ディスプレイの前後位置を一番奥（初期設定位置）にしてご使用ください。ディスプレイを手前に出して使用すると、シフトレバー操作の妨げになる場合がありますので注意してください。

⚠注意

安全上お守りいただきたいこと

- ディスプレイの位置調整は、手で無理に行わないでください。手で無理に行くとセンサーによる前後位置の検出ができなくなり、スライド動作が正常にできなくなるなど故障の原因となることがあります。
- ディスプレイの前後スライド時に手や指を挟み込まないように注意してください。

各種設定と操作について



本体電源のON/OFF

- 1 車のエンジンを始動します。(パーキングブレーキは、引いておいてください。)
- 2 P.9、10 “ディスプレイの操作” を参照し液晶パネルを見やすい位置に調節します。
- 3 リモコンの ボタンを押して液晶パネルの電源を “ON” にします。
- 4 リモコンの ボタンをもう一度押すと液晶パネルの電源が “OFF” になります。

お知らせ

- 電源のON/OFFは、ディスプレイの操作ボタンでも電源のON/OFFができます。(詳しくは、P.7、8 “各部の名称と働き” をご覧ください。)

走行中の表示について



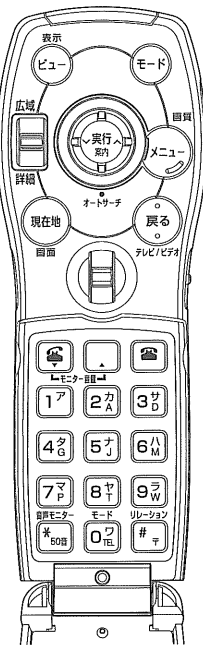
警告

安全上お守りいただきたいこと

- 運転者がテレビやビデオ映像を見るときは、車を安全な場所に停車させパーキングブレーキを引いてご使用ください。走行中にテレビ、ビデオ映像を見ると交通事故の原因となり非常に危険です。本機は、走行中テレビ、ビデオ映像は表示されません。

お知らせ

- テレビ/ビデオモード中に車を走行されますと、テレビ/ビデオ映像は表示されず次の画面が表示されます。(テレビ/ビデオ音声はそのままお楽しみいただけます。)

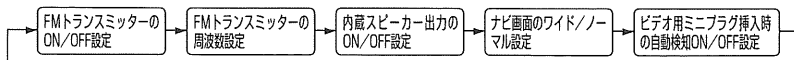


設定画面の切り換え

<ご使用の前に次の各モードを選択し設定を行ってください。>


- 1 車のエンジンを始動します。(パーキングブレーキは、引いておいてください。)
- 2 P.9、10 “ディスプレイの操作” を参照し液晶パネルを見やすい位置に調節します。
- 3 リモコン本体右横部の ボタンを押してテレビの電源を “ON” にします。
- 4 リモコンの ボタンを押すと設定モードが表示されます。
- 5 リモコンの ボタンを押すごとに設定モードが、次のように切り換わります。


操作終了後、約7秒で元の画面に戻り設定が完了します。



内蔵スピーカーのON/OFF設定

〈内蔵スピーカーの使用の有無によりON/OFF設定を行ってください。〉

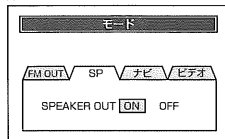
1 リモコンの  ボタンを押して内蔵スピーカーON/OFF設定画面にします。

2 リモコンの  スティックの左右で **[ON]** または、 **[OFF]** を選択します。


- [ON]** : 内蔵スピーカーからテレビまたは、ビデオ音声を出力する場合
- [OFF]** : 内蔵スピーカーからテレビまたは、ビデオ音声を出力しない場合

操作終了後、約7秒で元の画面に戻り設定が完了します。

内蔵スピーカーのON/OFF設定





お知らせ

- 当社製ナビゲーションユニット接続時の音声ガイド（ルート案内）は、内蔵スピーカーのON/OFFに関係なく内蔵スピーカーより音声出力されます。内蔵スピーカーのON/OFF設定はテレビ、ビデオ音声のみ設定が可能です。ナビゲーションユニットからの音声ガイドは、設定できません。
- 当社製ナビゲーションユニットを接続しナビゲーション映像を表示中にテレビまたは、ビデオ音声を出力するとナビゲーションユニットからの音声ガイド（ルート案内）出力時にテレビまたは、ビデオ音声と重なって出力し音声ガイドが聞きづらくなる場合があります。音声ガイドをお聞きになる場合は、リモコン本体右横部の  ボタンでテレビまたは、ビデオ音声を調節してご使用ください。

FMトランスミッターのON/OFF設定

〈FMトランスミッターの使用の有無によりON/OFF設定を行ってください。〉

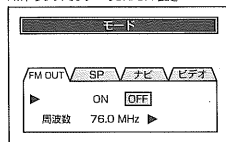
1 リモコンの  ボタンを押してFMトランスミッターON/OFF設定画面にします。

2 リモコンの  スティックの左右で **[ON]** または、 **[OFF]** を選択します。


- [ON]** : FMトランスミッターを使用してカーラジオ（カーステレオ）より音声出力する場合（ONを選択した場合は、本体後面のオーディオ出力端子からの音声出力は出来ません。）
- [OFF]** : FMトランスミッターを使用しないで内蔵スピーカーより音声出力する場合（オーディオ入力端子付カーラジオ（カーステレオ）とオーディオ（AUDIO）出力端子を接続し音声出力する場合（OFFを選択した場合は、送信周波数設定画面は表示されません。）

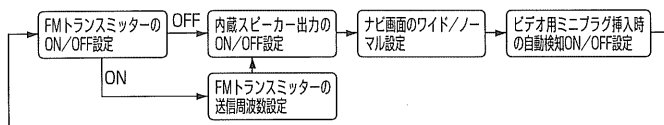
操作終了後、約7秒で元の画面に戻り設定が完了します。

FMトランスミッターのON/OFF設定



お知らせ

[ON] を選択されると  ボタンを押すごとにモード設定画面が、次のように切り換わります。

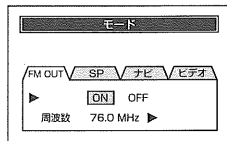


各種設定と操作について (つづき)

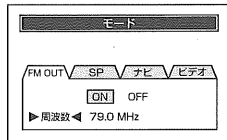
FMトランスミッターの送信周波数設定

- ① リモコンの **モード** ボタンを押してFMトランスミッターON/OFF設定画面にします。
- ② リモコンの **実行** スティックの左右で **ON** を選び再度リモコンの **モード** ボタンを押してFMトランスミッターの送信周波数設定画面にします。
- ③ リモコンの **実行** スティックの左右で送信周波数を選びます。
操作終了後、約7秒で元の画面に戻り設定が完了します。

FMトランスミッターのON/OFF設定



FMトランスミッターの送信周波数設定



お知らせ

- 送信周波数は、76.0~79.0MHzの範囲で0.2MHzステップで16通りの中から選択できます。(初期設定は、76.0MHzになっています。)
- ご使用になる地域のFM放送局との混信を避けるため、その放送局と近接(±0.3MHz以内)しない送信周波数を選んでください。また、下記の地域別推奨周波数を参考にしてください。
- カーラジオ(カーステレオ)の受信周波数を自動選局で行う場合、選択した周波数で止まらないことがあります。この場合は、マニュアル選局で周波数を合わせてください。

地域別推奨周波数

- ご使用になる地域ごとの推奨周波数は、下記の通りです。新しく開局した放送局が下記の周波数と近接する場合は16通りの周波数の中から近接(±0.3MHz以内)しない周波数を選んでください。

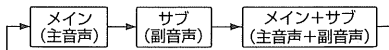
北海道地区	76.8MHz	77.6MHz	78.0MHz	近畿地区	77.6MHz	78.0MHz
東北地区	76.6MHz	78.6MHz		中国地区	77.6MHz	78.4MHz
関東地区	76.8MHz	77.6MHz		四国地区	76.6MHz	76.8MHz
中部地区	76.6MHz	77.4MHz		九州地区	76.2MHz	78.2MHz

音声モードの切り換え

〈ご使用前に次のモードより選択し設定を行ってください。〉

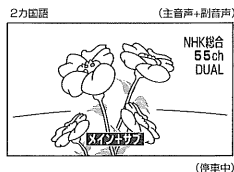
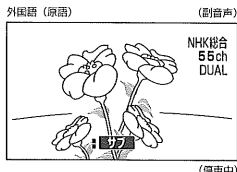
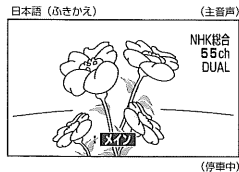
- ① リモコンの **音声モニター** ボタンを押すと音声モードが表示されます。
- ② リモコンの **音声モニター** ボタンを押すごとに音声モードが、次のように切り換わります。
操作終了後、約7秒で元の画面に戻り設定が完了します。

方式	聞こえる音		用途
ステレオ放送	ステレオサウンド		音楽番組
2重放送	メイン(主音声)	日本語(ひきかえ)	外国映画やニュースなど
	サブ(副音声)	外国語(原語)	
多重放送	メイン(主音声)	テレビ画面の音声	プロ野球の応援合戦やカラオケなど
	サブ(副音声)	もう一つの音声	



お知らせ


- テレビ音声多重放送には、次の2つの方式があります。
- ステレオ放送時は、画面右上に“STEREO”と表示され2重放送時は、“DUAL”と表示されます。




チャンネルコール

〈使用中のモードを確認する場合に使用します。〉

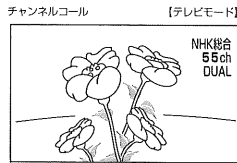
『地上デジタルテレビ開局準備による現行アナログテレビチャンネル変更について』も参照ください。(P.5)

1 リモコンの  ボタンを押すと画面右上にチャンネル番号と放送局名が表示されます。

2 リモコンの  ボタンをもう一度押すと、表示は解除されます。

お知らせ

- 受信状態が悪い（電波が弱い）ときは、放送局名が表示されないことがあります。
- ビデオモードの場合は、画面右上に“VIDEO”と表示されます。




(停車中)




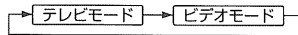
(停車中)

テレビ／ビデオモードの切り換え

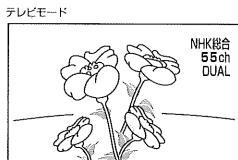
〈ご使用の前に次のモードより選択し設定を行ってください。〉

1 リモコンの  ボタンを押すとモードが表示されます。

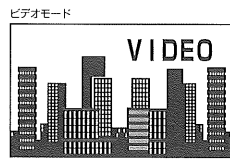
2 リモコンの  ボタンを押すごとにモードが次のように切り換わります。



- テレビモード………テレビ放送を表示します。
- ビデオモード………外部A/V機器を接続時、このモードを選ぶと映像を表示します。
(ビデオ用ミニプラグ挿入時の自動検知で **[ON]** を設定されている場合は、前面の映像／音声入力端子にミニプラグを接続されると自動的にビデオモードに切り換わります。)




(停車中)



(停車中)

お知らせ


- 上記操作時、ナビゲーションユニット映像を表示しているときは、ナビゲーションユニットの電源を **[OFF]** してから操作してください。
- テレビモードでは、画面右上のチャンネル番号が約5秒間表示されます。ビデオモードでは、画面右上に表示された状態になります。(表示を解除するには、 ボタンを押してください。)
- テレビ放送受信時、AMラジオを受信するとテレビアンテナまたは、コードを介してAMラジオ放送に雑音が入ることがあります。AMラジオを受信される場合は、必ず本機の電源を **[OFF]** してください。

各種設定と操作について (つづき)

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。


音量調整


〈FMトランスミッターまたは、内蔵スピーカーによるテレビ音声出力の音量を調整します。〉

リモコン本体右横部の  ボタンで音量を調節します。

お知らせ


●内蔵スピーカーでテレビ音声をお聞きになる場合は、FMトランスミッターによる音声出力に比べ音域がせまいため音質が悪くなります。また、音量を上げすぎると音が割れ、聞きずらくなることがあります。


●ナビゲーションシステム接続時の音声ガイド（ルート案内）は、リモコンの  ボタンで音量調節できません。

 スイッチを切り換えて、ナビゲーションシステム側にて調節してください。

ナビ画面のワイド／ノーマル設定

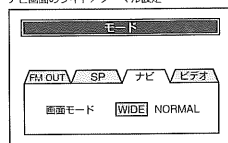
〈ナビゲーションシステムにより画面モードの切り換えが必要です。本システムは、ワイドを選んでください。〉

1 リモコンの  ボタンを押してナビ画面のワイド／ノーマル設定画面にします。

2 リモコンの  スティックの左右で **WIDE** を選択します。


操作終了後、約7秒で元の画面に戻り設定が完了します。


ナビ画面のワイド／ノーマル設定



ビデオ用ミニプラグ挿入時の自動検知ON／OFF設定

〈前面A/V入力端子を使用して外部A/V機器を接続される場合に設定します。〉

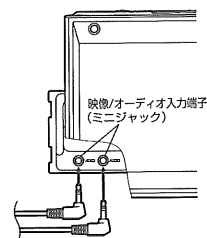
1 リモコンの  ボタンを押してビデオ用ミニプラグ挿入時の自動検知ON／OFF設定画面にします。

2 リモコンの  スティックの左右で **ON** または、**OFF** を選びます。

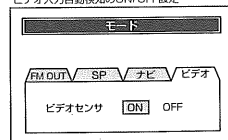
ON : ONに設定すると前面A/V入力端子に外部A/V機器からのミニプラグを挿入すると、自動的に映像モードがビデオモードに切り換わります。

OFF : ビデオ入力の自動検知を使用しない場合
: マニュアル操作でビデオモードに切り換えてご使用になる場合

操作終了後、約7秒で元の画面に戻り設定が完了します。



ビデオ入力自動検知のON/OFF設定



お知らせ

●ON選択時でも付属のリモコン操作で映像モードの切り換えは可能です。

●前面の映像／オーディオ入力端子には、別売り接続コードMZ606651（LE-23AV）を使用し接続してください。

画質調整のしかた

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

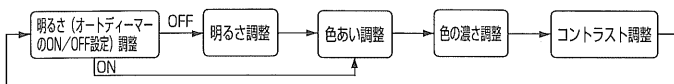
画質調整について

- 各映像画面をお好みにより調整します。(画質調整は、テレビ/ビデオモードまたは、ナビゲーション映像により調整のしかたが異なります。)

画質調整は、リモコンの **画質** ボタンを押すと、各調整モードが表示されますので、リモコンの **実行/選択** スティックを左右に倒して調整します。

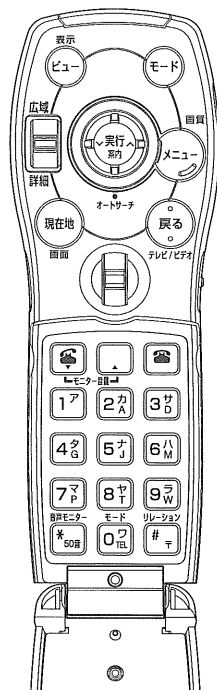
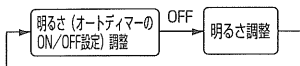
テレビ/ビデオモードの場合

リモコンの **画質** ボタンを押すごとに調整モードが、次のように切り替わります。



ナビゲーション映像の場合

ナビゲーション映像表示中は、リモコンの **画質** ボタンを押すと、明るさ(オートディマーのON/OFF設定)調整モードと明るさ調整モード以外は、表示されません。



操作方法

お知らせ

- 走行中は、安全のためリモコンの **画質** ボタンを押しても明るさ(オートディマーのON/OFF設定)調整モードと明るさ調整モード以外の調整モードは、表示されません。また、夜間車両側の照明(ライト)を **ON** にした場合はオートディマーのON/OFF設定も行えません。

明るさ(オートディマーのON/OFF設定)調整

〈このモードは、自動で明るさを調整するか、手で明るさを調整するかを選びます。〉

- 1 リモコンの **画質** ボタンを押して明るさ(オートディマーON/OFF設定)調整モードにします。

- 2 リモコンの **実行/選択** スティックの左右で **ON** または、 **OFF** を選択します。

- ON** : 画面の明るさを自動で変化させる場合
- OFF** : 画面の明るさを手動で調整する場合

操作終了後、次の操作をしないまま約7秒が経過すると元の画面に戻り設定が完了します。

お知らせ

- オートディマー機能は、周辺の明るさを感知して画面の明るさを切り換えます。また、周辺が暗くなった場合は、映像のまぶしさなどを低減させるため映像を自動的に暗くします。
- 車両のライトスイッチを **ON** にした場合は、オートディマー機能は動きません。

オートディマーのON/OFF設定



(停車中)

画質調整のしかた (つづき)

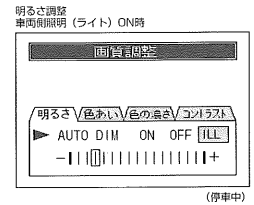
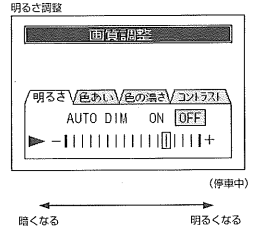
運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

明るさ調整

〈このモードは、上記のオートディマーのON/OFF設定で“OFF”にすると調整ができます。〉

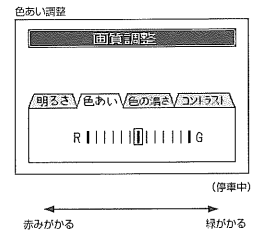
- 1 リモコンの ボタンを押して明るさ (オートディマーON/OFF設定) 調整モードで **[OFF]** を選びます。
- 2 リモコンの ボタンを再度押して、明るさ調整モードにします。
- 3 リモコンの スティックの左右で明るさを調整します。

操作終了後、次の操作をしないまま約7秒が経過すると元の画面に戻り設定が完了します。



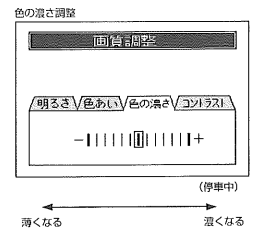
色あい調整

- 1 リモコンの ボタンを押して色あい調整モードを選びます。
 - 2 リモコンの スティックの左右で色あいを調整します。
- 操作終了後、次の操作をしないまま約7秒が経過すると元の画面に戻り設定が完了します。



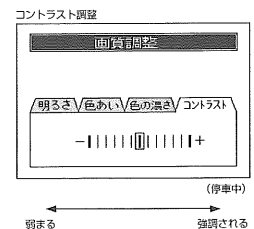
色の濃さ調整

- 1 リモコンの ボタンを押して色の濃さ調整モードを選びます。
 - 2 リモコンの スティックの左右で色の濃さを調整します。
- 操作終了後、次の操作をしないまま約7秒が経過すると元の画面に戻り設定が完了します。



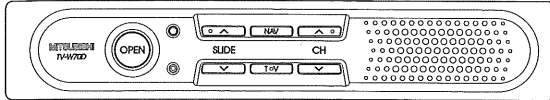
コントラスト調整

- 〈映像にメリハリをつけたいときに調整します。〉
- 1 リモコンの ボタンを押してコントラスト調整モードを選びます。
 - 2 リモコンの スティックの左右でコントラストを調整します。
- 操作終了後、次の操作をしないまま約7秒が経過すると元の画面に戻り設定が完了します。



テレビを見るには

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。



テレビモードへの切り換え

『地上デジタルテレビ開局準備による現行アナログテレビチャンネル変更について』も参照ください。(P.5)

1 リモコン本体右横部の ボタンまたは、ディスプレイの ボタンを押してテレビモードにします。

(リモコンの ボタンで電源を[ON]にする場合はリモコン本体左横部のテレビ→ナビスイッチをテレビ側に切り換えてください。)

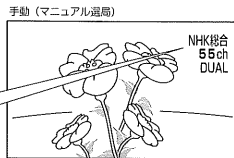
選局 選局には、4つの方法があります。

手動(マニュアル)選局

リモコンの スティックを左右に倒すか

または、ディスプレイの ボタンを押すごとに1チャンネルずつ選局します。

1チャンネルずつ切り換えます。

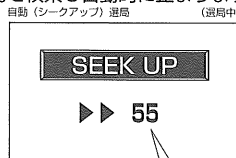


(停車中)

自動(シーク)選局

リモコンの スティックを右方向に2秒以上倒すかまたは、ディスプレイの ボタン上側を長押し(2秒以上)すると、チャンネルが自動的に上がり受信可能な放送局を検索し自動的に止まります。

リモコンの スティックを左方向に2秒以上倒すかまたは、ディスプレイの ボタン下側を長押し(2秒以上)すると、チャンネルが自動的に下がり受信可能な放送局を検索し自動的に止まります。



(停車中)



(停車中)

1チャンネルずつ自動で切り換えます。

プリセット選局

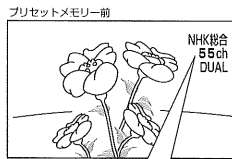
リモコンの ~ ボタンであらかじめメモリー

されているボタンを短押し(2秒未満)し放送局を選局します。(あらかじめプリセットメモリーで放送局をメモリーしてください。)

プリセットメモリーのしかた

1 手動選局または、自動(シーク)選局でメモリーしたい放送局を選局し表示します。

2 リモコンの ~ ボタンのいずれかを長押し(2秒以上)すると、そのボタンに放送局がメモリーされます。(プリセットメモリーは、9局までメモリーできます。)



(停車中)



(停車中)

メモリーしたい放送局を選局します。

この表示に切り換わると、メモリーが完了します。

お知らせ

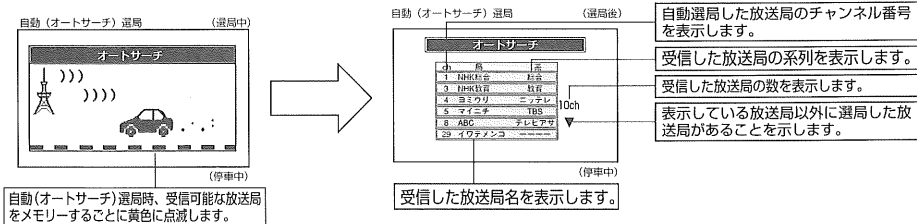
- すでにメモリーされているボタンにもう一度メモリーしたときは、前にメモリーした放送局は取り消されます。
- バッテリー交換などでメモリー回路の電源がとぎれると、メモリーした放送局はすべて取り消されます。

テレビを見るには (つづき)

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

自動 (オートサーチ) 選局

- 1 リモコンの **実行** スティックを下方に2秒以上倒すと、自動的に受信可能な放送局をチャンネル番号の小さい順 (最大10局) に選局します。
- 2 リモコンの **実行** スティックを下方に倒す (2秒未満) と、1 で選局した放送局を順次呼び出すことができます。選局後、画面右に▼が表示されているときは、表示している放送局以外に受信している放送局がありますので表示末尾の放送局を呼び出した後に **実行** スティックを下方に倒す (2秒未満) と、次候補を順次呼び出すことができます。選局後、約5秒間受信したチャンネル番号を表示後、元の画面に戻ります。



操作方法

ビデオを見るには

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

前面の映像 (VIDEO) 入力端子、オーディオ (AUDIO) 入力端子に外部A/V機器を接続すると、車内で映像と音声がお楽しみいただけます。操作方法については、外部A/V機器付属の“説明書”に従って操作してください。

映像モードの切り換え

- 1 リモコンの **戻る** ボタンを押してビデオモードを選びます。
- 2 外部A/V機器の“説明書”に従い映像を再生してください。

お知らせ

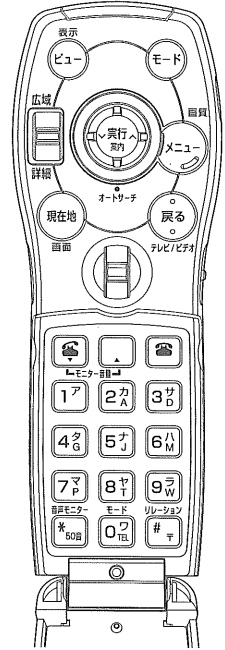
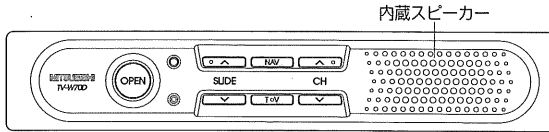
- 当社製ナビゲーションシステム接続時、ナビゲーション映像が表示されているときはナビゲーションユニットの電源を“OFF”にしてから、上記操作を行ってください。
- ビデオモードでは、画面右上に“VIDEO”が約5秒間表示されます。また、コピーガード付き映像ソフトをご使用の場合、“VIDEO”の表示位置が正規表示位置に表示されない場合があります。
- 映像入力端子 (VIDEO) に映像入力信号が入力されると、“VIDEO”の表示は消えます。



(停車中)

ナビゲーションを見るには

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。



操作方法

ナビゲーション映像の表示

- リモコンの **ナビ-テレビ** スイッチをナビ側に切り換えて電源ボタンを押しナビゲーションユニットの電源を **[ON]** にします。また、ディスプレイの **NAV** ボタンでも同様にナビゲーションユニットの電源が **[ON]** になります。**NAV** ボタンをもう一度押すと、電源が **[OFF]** になります。

お知らせ

- ナビゲーションユニットの電源を **[ON]** にすると自動的にナビゲーション映像が表示されます。
- テレビモードまたは、ビデオモードご使用時にナビゲーションユニットの電源を **[ON]** にするとナビゲーション映像が優先になり自動的に切り換わります。音声は、テレビまたは、ビデオ音声そのまま出力されます。

ナビ音声ガイドについて

- ナビゲーションユニットの音声ガイドは、内蔵スピーカーのON/OFFに関係なく内蔵スピーカーより出力されます。
ナビ音声ガイドの音量は、リモコンの **音量** ボタンで調整できません。
ナビ音声ガイドの音量調整は、**ナビ-テレビ** スイッチを切り換えてナビゲーションシステム側で行なってください。

リレーション機能と操作のしかた

運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

リレーションのON/OFF設定

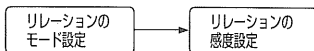
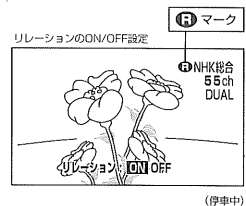
『地上デジタルテレビ開局準備による現行アナログテレビチャンネル変更について』も参照ください。(P.5)

- リモコンの **リレーション** **[#]** ボタンを押すごとにリレーションのON/OFFが切り換わります。

- **[R]** マーク点灯時：リレーション機能がON状態です。
 - **[R]** マーク消灯時：リレーション機能がOFF状態です。
- 操作終了後、約5秒で元の画面に戻り設定が完了します。

お知らせ

- **リレーション** **[#]** ボタンを長押し (2秒以上) するとモード設定画面が表示され **リレーション** **[#]** ボタンを押すごとに次のようにモードが切り換わります。リレーションのモードの感度設定についてはP.21 “リレーション機能と操作のしかた” をご覧ください。



リレーション機能と操作のしかた (つづき)

リレーションのモード設定

- 1 リモコンの ^{リレーション} **#** ボタンを長押し (2秒以上) しリレーションのモード設定画面 (MODE) にします。
- 2 リモコンの ^{実行} **↔** スティックの左右で **AUTO** または、**MANU** を選択します。
- AUTO** : 受信中のテレビ放送の受信状態が悪くなったとき、自動的にリレーション機能が働き同じ系列の受信チャンネルに切り換わります。
- MANU** : 約5秒後に画面が切り換わりリレーション動作が始まります。

お知らせ

- **MANU** を選べると下記リレーションの感度設定は表示されません。約5秒で元の画面に戻り設定が完了します。

リレーションの感度設定

上記リレーションのモード設定で **AUTO** を選んだ後、下記の設定を行ってください。

- 1 リモコンの ^{リレーション} **#** ボタンを短押し (2秒未満) しリレーションの感度設定画面にします。
- 2 リモコンの ^{実行} **↔** スティックの左右で **LOW** **MID** **HIGH** の中から使用状況に合った感度を選びます。
- LOW** : 受信中のテレビ放送の電波が非常に弱くなり受信不可能になると、リレーション動作を開始します。
- MID** : LOWとHIGHの中間の条件でリレーション動作を開始します。
- HIGH** : 受信中のテレビ放送の電波が少し弱くなると、リレーション動作を開始します。

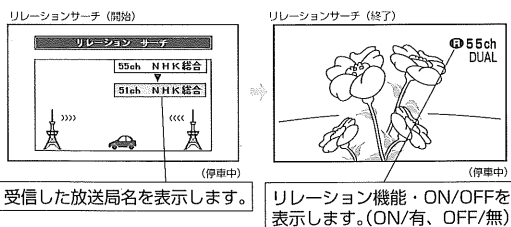
リレーションの動作と表示

リレーション動作が開始されると、リレーションサーチ (開始) 画面が表示されます。

↓
受信中の放送局と同一ネットワーク内の受信可能な放送局を検索し、そのチャンネル番号と放送局名を順次表示します。

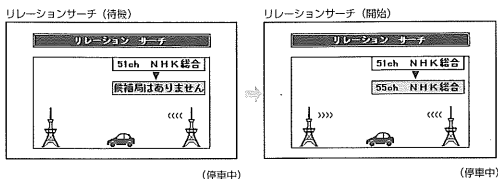
↓
受信可能な放送局の中で最も受信状態の良い放送局を自動的に選択し、そのチャンネル番号と放送局名を表示します。

↓
その放送局の映像に切り換わり映像を表示します。



お知らせ

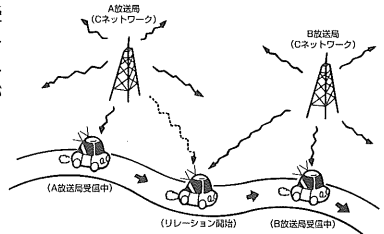
- リレーション動作中、受信可能な放送局が見つからない場合は、一時待機状態となりリレーションサーチ (待機) 画面が表示されます。再度リレーションが開始されると画面表示は、待機画面から開始画面に切り換わります。
- リレーション待機中は、受信可能な放送局が見つかるまで検索を繰り返しリレーションサーチ (開始) 画面が表示されます。(リレーション待機中は、テレビ音声は出力されません。)
- リレーション待機中状態を中断したい場合は、リモコンの ^{実行} スティックの左右でチャンネル選局を行ってください。



運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

リレーション（同放送自動追尾）機能とは

テレビ放送受信中に受信している放送局のサービスエリアから離れ、受信状態が悪く（電波が弱く）なったとき、受信中の放送局と同一ネットワーク内の受信可能な放送局を検索し、受信している放送局のチャンネルを自動的に切り換えることにより継続して同じ番組を受信することができる機能です。




- 本機とナビゲーションユニットを接続することにより、現在受信している放送局と同じ系列の放送局を地域毎に検索することができます。
- 全国ネット放送以外のテレビ番組（ローカル番組）を受信している場合は、リレーションにより同一番組を受信することはできません。（受信している放送局が切り換わると番組が異なります。）
- 山間部、高層ビル街など電波状態が悪い地域では、リレーション機能が正常に動作しない場合があります。
- 一部の地域で正確なリレーションおよび放送局名表示ができない場合があります。
- 本機に接続したナビゲーションユニットの電源が **[ON]** の場合は、テレビ音声のみとなります。テレビ映像をご覧になる場合は、ナビゲーションユニットの電源を **[OFF]** してください。（テレビ映像を見るときは、車を安全な場所に停車させパーキングブレーキを引いた状態でご覧ください。）
- 放送局のチャンネル番号とサービスエリアの情報は、本機開発時点のもので、新しく開局した放送局については、対応できません。
- 安全のため、走行中はリレーションのON/OFF設定以外の操作は、行なえません。リレーションのON/OFF設定以外の操作は、車を安全な場所に停車させパーキングブレーキを引いてから行ってください。

画面モードの切り換え

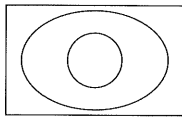
運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

画面モードの切り換え

本機は、4種類の画面モードを選択することができます。映像の内容によりリモコンの  ボタンを押して画面モードを切り換えてお楽しみください。

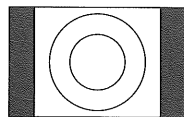
●ワイド (WIDE)

画面の中心部より、横方向に徐々に拡大して画面幅全体に表示します。



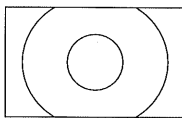
●ノーマル (NORMAL)

通常の映像（縦横比4：3）を表示します。但し、左右は黒帯となり表示されません。



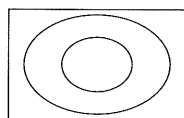
●ズーム (ZOOM)

通常の映像を画面全体に上下、左右引き伸ばして表示します。但し、映像の上下、左右がかけます。



●フル (FULL)

通常のテレビ放送（縦横比4：3）の映像を画面幅全体に拡大して表示します。



お知らせ

- テレビ番組などソフト映像比率と異なるモードを選択しますと、オリジナルの映像と違った見えかたになります。この点に留意して画面モードを選択してください。
- 本機を営利目的または、公衆に視聴させることを目的として使用する場合、画面モードの切り換え機能により画面の圧縮、引き伸ばしなどを行ないますと著作権上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- ズーム (ZOOM) モードの画質は、ノーマル (NORMAL) モードと比べると粗くなります。
- ナビゲーション映像は、RGB入力方式のため、画面モードの切り換えはできません。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線間違いで、故障と勘違いすることがあります。
修理を依頼される前に下記のようなチェックを行ってください。

	症状	原因	処置	参照 ページ
接続時	電源が入らない	電源コードの接続不良	別紙“取付要領書”に従って、正しく配線してください	—
		車のバッテリーがあがっている	バッテリーを確認してください	—
テレビ受信時	受信できない	アンテナコードの接続不良	別紙“取付要領書”に従って、正しく配線してください	—
	映りが悪い 雑音が出る	放送局の周波数に合っていない	正しいチャンネルに合わせてください	18,19
	自動選局ボタンを押しても選局しない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください	—
	画像にはん点やしま模様がでる	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車からの影響 他の搭載機器から妨害電波を受けている	おたがいの配線をなるべく離してください	
	画像が二重三重になる	近くの山やビルで電波が反射している	他の場所に車を移動して確認してください	18,19
	画像に色がつかない	白黒の番組を受信している	他の番組に切り換えて確認してください	
	画像が不鮮明	電波が弱いまたは、受信中の放送局のエリアから外れている		
共通操作時	画像が出ない	自動車が走行中である	安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキを引いてご覧ください	—
		表示したいモードになっていない	モードを切り換えてください	18,19,20
		電源が入っていない	本説明書をご覧になり操作してください	7,8
	画像が明るいまたは、暗い	車内の温度が低い	ヒーターで車内の温度を上げてください	—
		明るさの調整が不適当	本説明書をご覧になり操作してください	16,17
	画像の色合いが悪い	色合いの調整が不適当		
	音が悪い(歪む)	音量を上げすぎている		12
音が出ない	音量が最小になっている			
		ラジオの周波数と本機設定周波数が合っていない	周波数を合わせてください	13

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ	
リ レ ー シ ョ ン 操 作 時	動作しない	リレーション設定不良	本説明書に従い正しく設定してください	20,21	
	受信できない	山間部、高層ビル街などで電波状態が悪く受信できない	正常に電波が受信できる場所に車を移動してください	—	
	放送局名が表示されない	新しく開局した放送局である	故障ではありません	—	
	受信していた放送局と異なった番組に切り換わる	受信していた番組がローカル番組である	〔 P.5の 「地上デジタルテレビ開局準備による現行アナログテレビチャンネル変更について」をご参照ください。 〕		
リ モ コ ン 操 作 時	リモコンが動かない	電池が入っていない	電池を入れてください	6	
		電池の入れかたが間違っている	正しく電池を入れ直してください		
		電池が消耗している	新しい電池に交換してください		
		リモコン信号受光部に向けて操作していない	正しく操作してください	—	
		リモコン信号受光部または、リモコン信号送信部が汚れている	清掃してください		
		リモコン信号受光部に直射日光が当たっている	直射日光をさえぎってください	—	
		テレビ→ナビスイッチが操作対象側になっていない	操作対象側に切り換えてください	8	
液 晶 パ ネ ル 部 操 作 時	液晶パネル部の角度調整ができない	障害物に接触している	障害物を取り除いてください	9,10	
	液晶パネル部の引き出しが行えない	シフトレバーに接触している	本説明書をご覧になり操作してください		
		液晶パネル部を手で無理に引き出している	本説明書をご覧になり初期設定位置に戻してください		
	液晶パネル部が収納されない	段差・ガタガタ道などを走行中である	正常に舗装された道で操作してください	—	
		液晶パネル部が収納されない	障害物に接触している	障害物を取り除いてください	9,10
			液晶パネル部の上に物を置いている		
	液晶パネル部が水平に戻っていない	本説明書をご覧になり操作してください			

保証書とアフターサービス

保証書について

- お買い上げいただいた製品には、保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は

⇒ 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

⇒ 修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。

なお、当社はナビゲーションシステム関連機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。

- アフターサービス（修理）に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表に記載の代理店ならびに地区別サービス店にご相談ください。

主な仕様

本機の仕様および外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

共通部

種類	インダッシュ カーカラーTV
使用温度範囲	0℃ ~ +55℃
最大消費電流	約1.5A以下
バックアップ電流	1mA以下
電源電圧	DC12V (10.8V~15.6V使用可)
外形寸法	178(幅)×50(高さ)×159(奥行き)mm
質量	約1.75kg

液晶パネル部

画面サイズ	対角16.5cm
画素数	280.800画素 (水平:400画素×RGB×垂直:234画素)
液晶	透過型TNフルカラー液晶パネル
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
視野角	6時方向 (最大コントラスト方向)
バックライト	冷陰極管エッジライト方式
表面処理	AG(アンチグレア)+LR(ローリフレクション)コート
外形寸法	160(幅)×113.5(高さ)×29(奥行き)mm

テレビチューナー部

回路方式	PLLシンセサイザー
受信方式	NTSCカラー方式
受信チャンネル	VHF: 1~12チャンネル UHF: 13~62チャンネル
アンテナインピーダンス	75Ω不平衡
映像入力レベル	1Vp-p/75Ω (ミニジャック部)
オーディオ入力レベル	1Vp-p/47kΩ (ミニジャック部)
映像出力レベル	1Vp-p/75Ω (ピンジャック部)
オーディオ出力レベル	MAX. 500mV (r. m. s) (ピンジャック部)

付属品

付属品については、別紙“取付要領書”をご覧ください。



〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)